

【教科】 数学科	【日時】 2月 6日（金）5校時	【生徒】 2年 5・6組 習熟度別少人数授業	【授業者】 野尻恭佑 池田直樹 江連恵美
江戸川区立小松川中学校 研究発表公開授業		「誰ひとり取り残さない、生徒一人一人の学力向上を図る教育実践」	

【単元名】	学習過程	○主な学習活動・予想される生徒の気付きや反応	☆指導上の工夫
6章 確率 （全9時間）	<b>導入 10分</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○じゃんけんカードゲームを行う。           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゲームの説明をする。</li> <li>・じゃんけんカードを班に6枚ずつ配布する。6枚のカードの手の種類は均等ではない場合もあるように配る。</li> <li>・4人班になり、ゲームを行う。</li> </ul> <p>問) いろんな場面で、勝つ確率を考える。</p> </li> </ul>	<p>☆カードゲームの説明書を配布し、ゲームを行っている最中に再度ルールの確認を行えるようにする。</p> <p>☆カードの種類は「グー・チョキ・パー」を均等に配布せず、いろんな場面で勝つ確率をグループごとで考え、全体と共有する。</p>
【単元目標】	<b>展開 35分</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「グー」3枚と「チョキ」3枚でゲームを行う場合について考える。           <ul style="list-style-type: none"> <li>・1回目は必ずAが勝つから、1回目にAが勝つ確率はいくつか考える。</li> </ul> </li> </ul>	☆必ず勝つ確率がいくつになるのか考えさせる。
話し合い：グー・グー・パー」と「チョキ・チョキ・パー」でゲームを行う場合、勝ちやすさについて考える。			
【本時の目標】（7／9時）		<ul style="list-style-type: none"> <li>・4人班で勝ちやすさについて話し合う。</li> <li>・話し合った内容について、各班発表する。</li> </ul>	☆樹形図を使うことのよさを、話し合い活動の前に説明する。
【本時の評価】	<b>まとめ 5分</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○本時の授業のまとめ           <ul style="list-style-type: none"> <li>・勝つ確率の傾向を読み取るために工夫したことや、考えたことについてまとめる。</li> </ul> </li> </ul>	☆樹形図を使って場合の数を求め、身の回りにある事象が感覚的に考えるのではなく、論理的に考え傾向を読み取るよさを実感してほしい。